



☆穂肥指導会を開催☆

7月10日～14日に、「佐渡米未来プロジェクト品質向上90」の取り組みとして、島内100ヶ所の展示圃場で、穂肥指導会を行いました。JAの指導員より「必ず幼穂を確認して、穂の大きさを見ながら、適期適量の穂肥施用をしましょう。また、今夏は暑く降雨も少ないので、稲が夏バテしたような状態に陥りやすいので、穂肥の施用を行うことで後期栄養を確保しましょう。」と説明がありました。参加者は自分の圃場の株を指導会に持参し、展示圃と自分の圃場と見比べて、穂肥の施用時期を確認していました。



生産者が穂肥の施用をしている様子
(右のQRコードを参照)



参加者が持参した稲株の幼穂



☆佐渡米の生育状況☆

30度を超える日が続き、佐渡米の生育は平年より2日から3日程度早く進んでいます。こしいぶきは8月1日、コシヒカリは8月6日、新之助は8月15日の出穂期を迎えそうです。



7月26日現在の圃場の様子は上のQRコードをご覧ください。

☆田んぼアートが見頃を迎えています☆

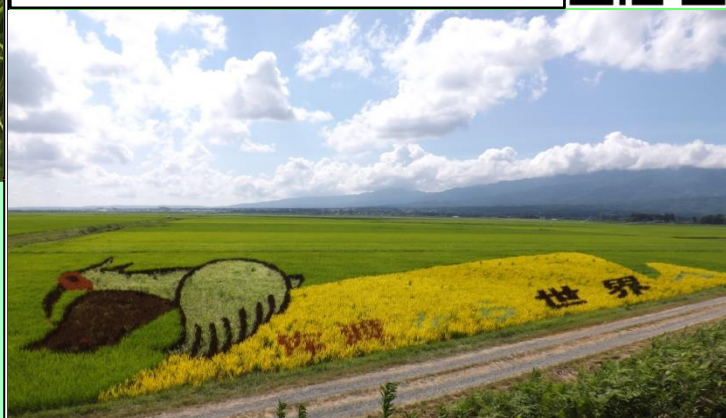
5月に、島内外の消費者や小中学校が来島して植えた「田んぼアート」が7月下旬より見頃を迎えています。これは朱鷺放鳥10周年を記念したもので、絵柄については島内の中学生がデザインしたものです。昨年より2種類多い6種類の苗を増やしたため、より鮮やかなものになっています。



田んぼアートの様子は、右のQRコードを参照ください。

☆スイカの出荷スタートです!! ☆

4月に定植をしたスイカの実が大きくなり、いよいよ出荷が始まりました。写真は生産者が出荷前の基準を確認するために目合わせを行っている様子です。今年は日照時間も長く、糖度の高く大玉のスイカに仕上がっているとのことでした。島内を中心に、大玉品種の「まつりばやし」等が店頭に並び、8月中旬頃まで販売がされます。



7月23日現在の田んぼアートの様子

☆田んぼアートの色の秘密☆：品種によって葉の色が違います。
 ●コシヒカリ ●黄色大黒（葉が黄色い観賞用の古代米）
 ●紫大黒（古代米のもち米） ●ゆきあそび（葉が白い観賞用の水稻品種）
 ●あかねあそび（葉が橙の観賞用の水稻品種） ●べにあそび（葉が赤い観賞用水稻品種）



JA 佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」
で佐渡の情報が見られます。



<https://www.facebook.com/jasadotanbo>

JA 佐渡 HP やフェイスブック・ツイッター・g+でも佐渡の情報が見られます

編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 山田・藤巻
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成30年8月